

平成 19 年度 石綿関連疾患に係る文献調査の概要

1. 調査実施の背景

石綿健康被害救済制度においては、平成 18 年 2 月に取りまとめられた「石綿による健康被害に関する医学的判断に関する考え方（報告書）」及び平成 18 年 3 月に答申された「石綿による健康被害の救済における指定疾病に係る医学的判定に関する考え方（答申）」に基づき、医学的判定がなされているが、この医学的な基準についてはその後の医学的知見の発達に伴って変更し得るものとされている。

また、「石綿による健康被害の救済に関する法律」の附帯決議においては、中皮腫及び肺がん以外の疾病についても被害の実態の把握に努め、必要に応じて本制度の見直しに反映させることとされている。

こうしたことから、平成 18 年度より、文献によって指定疾病である中皮腫及び肺がんに関する最新の知見を収集・整理し、かつ、一般環境経由の石綿ばく露による健康被害等に関する情報収集及びレビューを実施しており、平成 19 年度においても、引き続き同様の調査を行った。

2. 調査方法

(1) 調査委員会の設置・開催

石綿健康被害判定小委員会委員を中心に、14 名からなる調査委員会（委員長 森永謙二）を設置し、情報収集・整理及び解析の方針決定等を実施した。（第 1 回：平成 19 年 9 月 25 日、第 2 回：平成 20 年 1 月 29 日）

(2) 検索及びレビュー方法

平成 12 年以降に発表された、医学論文（抄録が英文で記載されている和文論文を含む）を対象に、MedLine による文献検索を実行し、さらに調査委員会が選定した文献について、平成 18 年度事業の実績に新たな知見を加える形でレビューを行った。また、平成 12 年以前に発表された文献についても、調査委員会が必要と判断した文献についてレビューを行った。

3. 調査結果の概要

(1) 調査対象文献数

371 件の文献を検索、レビューを行い、うち計 86 件について報告書に記載がなされた。内訳としては、平成 19 年度に新規に検索した文献数は 42 件で、平成 18 年度に引き続き報告書に含めた文献数が 19 件、委員独自の判断で報告書に含めた文献数が 25 件であった。

(2) 主なレビュー項目（詳細は報告書参考）

1) 石綿関連疾患に関する情報レビュー結果

①石綿関連疾患の画像診断、②臨床、③病理、④石綿小体及び石綿繊維の計測

2) 一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害（中皮腫）に関する情報レビュー結果